

# 玉名工業生が間仕切り、フェースシールドを製作 好きなものづくりで地域の役に立ちたい



玉名工業高校の機械科と機械整備部の生徒が、新型コロナウイルスの飛沫感染を防ぐ間仕切り、フェースシールド、マウスシールドを製作しました。「地域の役に立ちたい」と原価で注文を呼びかけ、課題研究や実習の中で製作を続けています。

【写真大】マウスシールドを製作する倉田さん。フレーム部分を熱で曲げている様子【写真小】完成品

## 授業で学ぶ技術を活かして

「新型コロナウイルスで困っている人のため、できることは何だろう」と機械科の緒方誠光主任おがたせいみつを中心に考案、2・3年生が教壇に設置するための安価な間仕切り作りに挑戦。授業で学ぶ溶接技術を駆使し、製作しました。金属板やパイプ、仕切りを上下するための輪っかなど各部品を固定するため、全3カ所を溶接。改良を重ね、黒板の字が見やすいよう透明シートを上下に動かしたり左右に回転したりできるよう工夫しました。あわせて、より多くの人が手軽に使えるフェースシールドとマウスシールドも製作を開始。共にシールド部分にはペットボトルと同じ素材を使い、マウスシールドのフレーム部分には文房具のレールファイルを使用しています。安価で加工しやすい素材を選びました。

療系の施設、社会人サークルなどから、間仕切りは110個、フェースシールドとマウスシールドは合わせて約2400個の注文を受けています（7月末時点）。機械科で機械整備部にも所属する倉田晃さんくらたひかる（3年生）は「素材を組み合わせる1から手作りするため作業は大変だが、自分たちが学んだ技術で人の役に立てるのは嬉しい。もっと多くの人に使ってもらいたい」と話しました。

## 災害復旧・復興のために

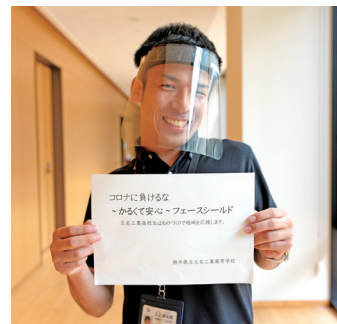
同科では、他にも令和2年7月豪雨を受けて、災害用リアカーを2・3年生が製作。生徒のうち希望者が人吉市でボランティア活動をするため、持って行くとのこと。取っ手部分は、被災地までトラックで運びやすいよう取り外し可能にし、持つ人の身長に合わせて上下できる機能も工夫しました。

常に地域や人のために、自分たちの技術で何ができるかを考えている玉名工業高校機械科。間仕切り（1500円）、フェースシールド（200円）、マウスシールド（100円）は原価で製作を請け負っています。購入希望者は同校（☎73・2215）にご連絡ください。

▼災害用リアカー



▼フェースシールドを着用した様子



▼間仕切りは同校の全教室にも設置

